

12月の園だより

令和6年11月29日

杉並区立西荻北子供園

園長 須田 なぎさ

「表現することを楽しむ子どもたち」

副園長 小森 三奈子

子どもたちは、何かになりきって遊ぶことが大好きです。現実の世界では困難なことや不可能なことでも、「〇〇ってことね」と可能にできるのが、ごっこ遊びのよさです。

子供園では、日頃から色々なものになって遊べます。好きな遊びの時間に、憧れのヒーローやプリンセス、動物、お店屋さん、お母さんやお父さんにもなっています。また、空を飛んだり、戦ったり、食べたいものを自分でつくって食べたりなど、ごっこ遊びを十分に楽しんでいます。

先月のPTA還元行事では、劇団こぱんの人形劇「おむすびころりん」を全学年が観劇し、ストーリーの面白さや人形の動きなどを楽しみました。年長組は、人形劇から刺激を受け、「面白そう!」「やってみたい」と感じたようでした。幼児の思いを実現できるように、先生は幼児が自分で人形をつくれるような素材や場を用意したところ、すぐにペーパーサートをつくり、人形劇「おむすびころりん」の再現遊びが始まりました。おじいさんやおにぎりが穴に落ちるところは、どうしたらそれらしく見えるか、穴の大きさや人形の動きなどを工夫していました。

人形ができると自分たちで動かして遊ぶだけではなく、クラスの友達や園長先生を呼んで、人形劇シアターが始まりました。また、その後、自分たちで動いてみたり、学級の皆でなりきって動くことも楽しみました。

さて、12月7日(土)には、年長組子ども会があります。子どもたちは、ストーリーに沿って、なりきって表現する楽しさを味わいながら、劇遊びを楽しんでいます。子供園の劇は、決められたセリフや動きを覚えて演じるのではなく、子どもたちがストーリーに沿って自由に表現している動きや言葉を先生が拾い、オリジナルの劇を子どもたちと一緒につくりあげていきます。

今年の年長組は、昔話「さるかにがっせん」を基にして、ぞう組オリジナルのストーリーや登場人物を考えました。

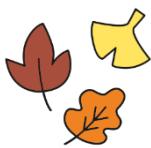
お話を決まると、今度は自分たちが「なりたい役」になるために必要な衣装も道具も、自分で考えます。同じ役の仲間と時間を決めて、声を掛け合い集まりつくっています。3年間の好きな遊びの中で培った経験や技術が、ここで発揮されます。そして、つくりながら、アイディアがさらに出てくることもあります。考えたことを、同じ役の友達に伝え、相談して決め、一緒に準備をすすめました。一人では難しい部分は、友達と協力しながら作る姿は、さすが年長組です。

できた衣装を着て、嬉しそうにホールに向かって歩く年長組の姿を、年少組・年中組の子どもたちは憧れのまなざしで見ています。

年長組の子ども会まであと1週間。どのような劇になるのか、とても楽しみですね。子ども会当日の姿だけでなく、そこに至るまでの過程や、その中で育つ力を子供園では大事にしています。ぜひ、お子さんの成長を感じていただけたら幸いです。

12月14日(土)には年中組、2月8日(土)には、年少組もそれぞれ、子ども会を予定しています。各学年、子どもたち一人ひとりが、のびのびと表現を楽しむ姿をご期待ください。





子どもたちの様子と今月のねらい



3歳児 うさぎ組

あっという間に冬がやってきて、子どもたちから「朝来る時、寒かったんだよ～。」という声が聞かれるようになりました。室内では、気の合う2、3人でおうちづくりをしたり、一人でもくもくと切ったり貼ったりしながら、つくることを楽しんだりしています。陽が差し込み暖かさを感じる頃になると、園庭で鬼遊び『もぐらどん』をしたり、遊具を使って広い場をつくったりと、体を動かす遊びも楽しんでいます。子どもは風の子、を感じるこの頃です。

＜今月のねらい＞

- 同じ場にいる幼児と関わり、簡単なやりとりをしながら遊ぶ楽しさを味わう。
- 保育者や他の幼児と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。
- 冬の生活の仕方（衣服の着脱、手洗いなど）が分かり、自分でできることを自分でしようとする。

＜家庭との連携＞

水が冷たくなってきて、手洗いをささっと済ませる姿が見られます。園では、石鹼でしっかりと手を洗い、健康に過ごすことの大切さを知らせています。ご家庭でも意識してみてください。また、上着の袖を裏返す、ファスナーやボタンを自分でやるなど、少しずつ自分でできる範囲を増やしています。ご家庭でも、お子さんができるところは見守っていきましょう。

4歳児 くま組

1学期からしていた“オオカミとコブタの鬼遊び”を助け鬼のルールに変えたことで、追う、追われる、助ける動きを楽しんでいます。学級のみんなで繰り返しすることで、捕まっても助けてもらえるということが分かり、簡単なルールを守って遊ぶこと、繰り返し体を動かすことを楽しんでいます。また、縄跳びや一本下駄など、少し難しいことにもチャレンジしてみようとする姿が増えています。子ども会に向けても、日頃楽しんでいる遊びを取り入れながら、学級の中になりたい役になって動き、表現することの楽しさを感じられるようにしていきます。

＜今月のねらい＞

- 自分の思ったことや考えたことを自分なりに表現したり、相手に伝えながら友達と関わったりして遊ぶことを楽しむ。
- 物語に親しみ、役になりきって動いたり、表現したりすることを楽しむ。
- 冬の生活の仕方が分かり、自分から身の回りのことをしようとする。



＜家庭との連携＞

11月の個人面談は、ご参加いただきありがとうございました。園や家庭でのお子さんの成長や課題など共有したことを、今後の保育に生かしていきたいと思います。

寒くなってくると、朝起きるのが遅くなりがちです。健康で過ごすためにも、早起きして、しっかり朝ご飯を食べ、9時までに登園しましょう。

5歳児 そう組

11月は、秋の自然物を取り入れたり、「本物らしくしたい」という思いから新しい素材に触れたりと、“工夫してつくる”“丁寧につくる”など、つくることを十分に楽しむ姿が多くありました。丁寧につくられている友達の作品から刺激を受け、ケーキ屋・新幹線ごっこなどいろいろな遊びへとつながっていっています。

子ども会に向けて意欲的に取り組んでいます。自分の役の気持ちを、動きや言葉にして表現したり、ひとつひとつの場面を友達とどうしていきたいか相談したりしています。そう組のみんなで「子ども会」という共通の目的に向かって、“やりたい”思いをもって進めています。

＜今月のねらい＞

○学級の友達と一緒に共通の目的に向かい、やり遂げた喜びや達成感を味わう。

○ルールのある運動遊びに繰り返し取り組んだり、自分なりのめあてに挑戦したりする。

○健康な生活や、病気の予防に关心をもち、意識して行動する。

＜家庭との連携＞

今月は、保育参観・個人面談を予定しています。保育参観では、学級全体の活動の中での友達との関わりの様子や、担任の話を聞いて理解して動く姿などをご覧いただければと思います。そのときのお子さんの姿を受けて個人面談をしますが、日頃の園やご家庭でのお子さんの様子も共有したいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



ほしグループ 長時間保育

11月の製作では「色をませる」遊びをたくさんしました。京花紙を洗濯糊で溶かして、自分だけの色のキノコを作ったり、段ボールにいろいろな色の絵具を混ぜて色付けし、面白い家を作りて壁面に飾ったりしました。「僕だけの色のキノコだよね。」「この家、ここの色が混ざっていきれいだよね。」と、色を意識する姿もみられています。

今月は、子どもたちが楽しみにしている行事があります。製作も、いろいろな道具や素材を使って、子どもたちと楽しみながら、季節を感じられるように進めています。

日が暮れるのが早くなってきたが、夕方、外に出て体を動かして遊びます。動きやすい上着をお願いします。

